



Official TEST Report 2022/3/21～23 FUJI Speedway 2nd Official test

2022 シーズン開幕前最後のテストとなる 第 2 回目公式テストが富士スピードウェイで開催された。

テスト初日、午前は雪交じりの雨、気温、路面温度ともに低く、参加する大半のチームがほとんど走行することなくコンディションの回復を待った。DOCOMO TEAM DANDELION RACING の 2 台も、システムチェックのためにコースインしたものの、3 ラップ程度でピットインし、セッションを終了した。

午後は本格的な雪となり、降雪によりコース上にも雪が積もり始める。

このため予定されていた午後のセッションは中止となった。

2 日目は快晴。コースもドライの状態です路面コンディションも好転。

DOCOMO TEAM DANDELION RACING の 2 台は、好タイムを刻みながら積極的に走り込みを行い、新たなセットアップや空力関連のテストメニュー、スタート練習などを消化した。

午後のセッションは曇り空となり、急速に気温/路面温度が下がっていく。タイヤの温まりも悪く、両ドライバー共に、マシンの感触は悪くないがタイムが出ない状況だったが、チームはタイムにこだわることなく、淡々とテストメニューを消化する。

セッション終盤の予選シミュレーションでは、ストップ車両発生により赤旗が掲示され中断、そのままセッションが終了となったためアタックは不発に終わったが、開幕に向けて手ごたえのある実り多きテストとなった。

5 : 牧野任祐 選手 総合 11 位 (ホンダ勢 4 位)

鈴鹿のテストから富士に向けて、鈴鹿の課題に対する解決策を盛込んで臨みました。

初日は雨であり走りることができませんでしたが、2 日目のドライ路面ではいい感触を掴むことができ、開幕に向けて非常に良い準備ができたと感じています。

第 1 大会の富士スピードウェイは Rd1 と Rd2 の 2 連戦となりますから、一つも取りこぼすことのないよう準備して開幕優勝を狙います。

6 : 大津弘樹 選手 総合 7 位 (ホンダ勢 2 位)

ドライで走ることができるのは 1 日だけとなりましたが、鈴鹿とは違ったマシンの感触とセットアップを感じる事が出来ました。様々にテストをする中でも常にトップ 10 にいることができていましたし、牧野選手とのセットアップデータの共有から見えてくるものも多く、収穫の多いテストが出来ました。鈴鹿、富士と手ごたえのあるテストが出来ましたので、開幕からしっかりと結果を残してゆけるように頑張ります。